

# 幅広い年齢の取り組みに期待

## 今年度も推進員の新規養成研修スタート

今年度も、地域における温暖化防止のための情報提供や普及啓発活動、地球温暖化対策地域協議会のマネージメントなどのリーダー的役割を担う「地球温暖化防止活動推進員」の養成研修がスタートしました。

今年度は、5つの地球温暖化対策地域協議会と、1つの公衆衛生推進協議会から16人が参加。

3回にわたって行う研修の1回目(前期)を8月26日に開催し、地球温暖化防止活動推進員の役割や、地球温



1回目に企画のテーマをグループごとに話し合う参加者

暖化問題の基礎を学んだ後、企画テーマの抽出を行いました。2回目(中期)は9月4日に開催し、地球温暖化に関する地域の課題点や課題を解決しようとする「思い」を、実践

### 今年度の企画一覧

- ①最初の一步～地球温暖化防止～
- ②みどりの紙芝居  
～ほんまにグリーンカーテンって効果あるん?～
- ③自家製堆肥でおいしい野菜を食べよう!!
- ④エコドライブについてのアンケート
- ⑤DIYで格安暖房器具「ソーラーヒーター」を作ろう!  
～ランニングコストほぼゼロ円、太陽の熱で暖まる～
- ⑥5のつく日の冷蔵庫内の整理整頓の実施活動
- ⑦小学生から大人までできるゴミの仕分け  
～分別して燃やせるゴミを減らそう～
- ⑧ごみ減量大作戦  
～わくわくごみ問題プロジェクト～

2回目に「思い」を「カタチ」にしてそれぞれ発表



活動という「カタチ」にする企画づくりを行いました。

大崎上島町けんこう文化の島づくり協議会から参加された秋山大地さん(22)と菅翔稀さん(18)は、企画を

実践するにあたり、直接、大崎上島町長に事業の協力をお願いしたり、広島市地球温暖化対策地域協議会から参加された岡木義徳さん(74)は、瀬戸内海で漁をしている経験から、地球温暖化を止めるた

めに熱い思いを伝える活動をするなど、10代の若い人から70代までの幅広い年齢層の参加者が脱温暖化に向けた取り組みを始められています。

参加者の皆さんは、3回目(後期)の研修で報告するまでの4カ月間、自分たちが企画した事業を実践し、その活動をもとめた実践報告を行った後、新規推進員として広島県知事から委嘱される予定です。

### コロナに負けない省エネワンポイント

夏場の新型コロナウイルス対策と省エネの両立を考えた時、まず最初に思い浮かべるのが換気でした。

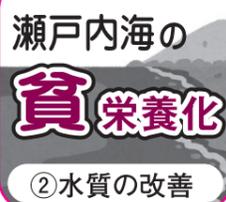


空調機器メーカーによると換気のためにエアコンの電源を入り切りするのでなく、エアコンをつけたまま空気の入れ替えを行うように呼び掛けています。

これは、エアコンは電源を入れた直後に最も電力を使用したため、つけたまま換気を行った方が消費電力は抑えられるからです。

## 海がきれいで魚が減る!?

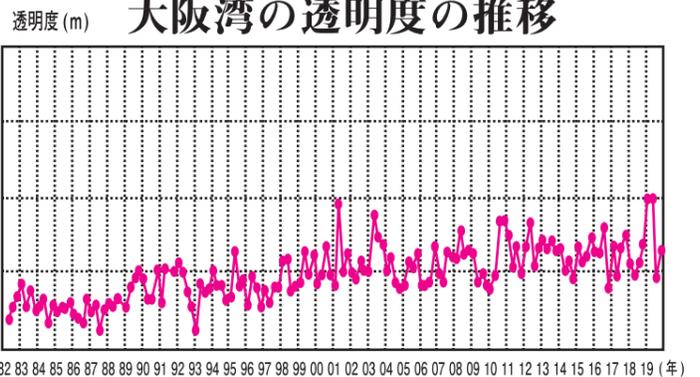
### 1年2カ月で海水が交換



今年度より、広島大学名誉教授の山本先生が当協会技術顧問に就任されました。数回にわたり「専門の「瀬戸内海の貧栄養化」についてお話いただきます。

瀬戸内海の水がどれくらい入れ替わるか、ご存知でしょうか?瀬戸内海には、たくさんの川の水が入っています。川の水は淡水で軽いので、表層を沖に流れます。これにともなつて、紀伊・豊後両水道の底層では沖から海水が入り込みます。これまで、世界の内湾で調べられた結果では、河川水の量に比べて、1桁大きいボリュウムの海水が入ってきます。さらに、沿岸では満潮・干潮があり、これが日2回繰り返されるので、淡水と海水が入り混じりながら交換

### 大阪湾の透明度の推移



国土交通省瀬戸内海水質総合調査ホームページ  
(http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/chiki/suishitu/) より引用

1960年代から1970年代にかけて、経済の高度成長により、瀬戸内海は急激に汚濁が進み、当時、前回の中国の川で見られたような「背曲がり魚」が見られました。これは大変だということでした。1973年に「瀬戸内海環境保全臨時措置法」が閣議決定され、5年後には「瀬戸内海環境保全特別措置法」(以下「瀬戸内法」と略記)となり、恒久化しました。この法律では、化学的酸素要求量(COD)、リン、窒素の削減を次第に強化し

技術顧問 山本良次